

行仙宿モノレール延伸に伴う補給路整備など

◇実施日 10月22日(日) 晴

◇参加者 沖崎吉信、児嶋道夫、湯川一郎、大森洋、濱野兼吉、

阪口雄二、大江加予子・徳子、畑林秀味・清子、西克、

梶野照雄、志岐敬、由井洋三 14名

平成28年(2016年)4月、(株)カマハラテックの谷社長、新宮信用金庫、山主の上平一郎氏らの絶大な理解と支援で第一期のモノレールが完成・稼働した。

モノレールが出来て7年半が経過し、行仙宿への荷揚げ作業は格段に効率アップした。今では無くてはならないものになっている。

設置当時、メンバーの平均年齢は60歳台後半であったが、現在は70歳台半ばを過ぎ、後期高齢者が増えてきた。そのため担ぐ重量は減り、時間も多くなるようになってきた。

あの時ももう少し先まで伸ばしておけばよかった。との声も聞こえてきた。山彦の5年先、10年先を考えた時、やるしかない。今やるべきだ。と思い始めたのが約1年前だ。

モノレールの延伸に向けて準備を始めた。最初に山主さんと電源開発株の了解を得る事。地権者の了解を得た後、施工業者のカマハラテックとの打ち合わせや交渉に入る。最大の難関は資金の調達で、多くの課題をクリアする事が必要だった。

山主の上平一郎氏宅へは二度訪問して、モノレール延伸について、

その必要性や予定ルートなどを詳しくお話し、「全面的に協力させて頂く」と快諾を頂いた。送電線の真下をレールが通過することから、今年の7月7日に電源開発株の池田、花森のお二人に現場まで足を運んでいただき、予定のルートを確認していただいた。

「モノレール自体は背が低いし、送電線下を外れているところが多いので、問題ありません」と回答を頂いた。

この時点で終点予定地を21番鉄塔手前の展望地としていたが、その後鉄塔横を終点とすることになったので、花森君に電話して再度了解を頂いた。

資金については青木宏充氏から多額の支援・協力の申し出があった。課題解決の見通しもつき、カマハラテックさんとの交渉に入った。

4月下旬からの大型連休、5月14日の熊野修験春峰などの対応でモノレール使用が多かった為か、エンジンが不調で起動しないことが多くなり、修理依頼でカマハラテック社を訪ねた。その際たまたま前社長の谷氏とお会いし、事情を説明すると即対応してくださった。また、モノレールの延伸についてもご理解を頂き「会社に対して私からも説明する」と、心強い言葉を頂いた。

5月20日、カマハラテックの東海君がモノレール延伸現場に来て、予定ルートの確認と距離の測定を行った。延伸部分は260mになった。

その後、山主の上平氏と電源開発株の正式な承諾を得たので、すぐにでも着工できる状態になったが、カマハラテックから頂いた見積書は新品レールで440万円(1mあたり17,000円)となっており、即支払える金額ではなかった。

中古のレールを使うとか延伸距離を短縮することも致し方ないかと思っていたところ、谷前社長から「当初の予定通り、鉄塔の近くまで延伸すべきだ。中古レールでも十分な耐久性があるし、金銭的な面も、私から会社幹部に考慮するよう伝える。安心しろ、任せとおけ」と、何とも有難いお言葉を頂き、10月末日までに完工できよう手配することだった。

ここまでの間に、3月29日、延伸予定ルートにビニール紐を張り、9月24日には14名で予定ルートの雑木やシダを刈り払い、着工を待つだけとなった。そして10月12日に着工し、10月23日に竣工することが出来た。現場での準備を始めてから7ヶ月弱だった

22日は総勢14名で出向き補給路の整備や管理棟の毛布運びを行った。



毛布などを積む



補給路の変更工事

洗濯済みの管理棟の毛布やザック、背負子をモノレール満載で梶野

君が終点近くまで運んだ。志岐さんは昨日、池原から中又尾根経由で行仙宿まで歩き、一泊して今日の作業に参加された。展望地の登山道に降ろした毛布は女性陣が小屋迄2往復して全てを運び上げた。



行仙宿に着く

本日の参加者

毛布を降ろす

レールは終点手前15mまで伸びており、明日の午前中に完工する状態だ。やっとここまで来た。

モノレール旧終点先の崩落地を通る補給路にレールを通したため、すぐ上の尾根に新しく登山道を作り、尾根に上がる1.5mほどの斜面に段差を設ける事が主な作業となる。段差新設と新道整備の2班に分かれて作業し、一時間少々で仕上げた。

お昼前に小屋に着いて、昼食後管理棟の未洗濯毛布をビニール袋に入れ各々が担いで持ち降ろした。今日はモノレールの搬器が展望地まで来ているので、毛布を手を持って運ぶメンバも多かった。これで行仙宿の毛布洗いは終了する。



鉄塔を望む



旧終点で



下山

今後は新しい終点付近の登山道拡幅やモノレール搬器横にプラ
ットホームを設置する作業が必要になる。
(記：沖崎)

行動タイム

09：05 補給路登山口↓09：40 補給路付け替え個所↑11：06↓11：35
行仙宿↑13：07↓13：20 モノレール展望地↓13：35 モノレール旧終
点↓13：56 補給路登山口